

金 賞

どうして海や川はきれいなのか

内山 恵里菜

小郡市立 小郡小学校

六月に、社会科見学で福童浄化センターに行きました。

見学に行って、水がどうやって、きれいになるのかを知りました。

おどろいたことや、すごいと思ったことが二つあります。

一つ目は、活性くとよばれるび生物が、わたしたちの使った水のよごれをぶんかいしてきれいになっていることです。けんび鏡で見ないと見えないび生物、そんな小さなび生物がよごれた水をきれいに行っていることを知って、おどろきました。「活性くん」の種類は、約二十種類もあるそうです。わたしたちは、実さいに活性くんを見せてもらいました。一ミリメートルほどなど、いろいろな長さや形のび生物がいることを知りました。水をきれいにするのが薬でもなく、きかいでもなく、小さな小さな生物なのです。わたしたちは、自然の力をかりているのです。

二つ目は、毎日、三人体制できれいになるまでの水の流れを二十四時間で監視をしていることです。ポンプ場から、放流までをパソコンなどの画面にうつして、見守っています。三人だけでしていることでもすごいのに、それも、毎日していることにおどろきました。毎日しているのです、それだけ水をきれいに流すこと、川や海をよごさないことが生きものにも人にも大切ということが、よく分かりました。三人が、こうたいして監視してくれることで小郡市、福岡県、日本は、海や川がきれいなんだなと思いました。

見学しに行って私は、び生物がなくならないように油などを流さないようにしたいと思いました。び生物がいなくならないように私達も協力したいと思いました。海や川をよごさないように私達が少しでも気をつけることで海や川がよごれず、水のじゅんかんもできる。日本の人々が海をよごさないようにすると、海などは、光り、かんきょうもきれいなままたもてます。これからも、浄化センターは、なくならず、浄化し、きれいな水を海や川に流してほしいです。